学校にいけない・いかない子をもつ

親同士がつながる場

解決できる場ではないけれど、それを目指す一端となることを願って開催しています（事務局）

－令和５年１月に参加された保護者の声をお届けします－

「中３の子が卒業したらラポールには行けないのよ。」

有田市教育委員会が設置している「ラポール」という場所があります。こちらでは、学校に行きづらい子どもたちが勉強をしたり、余暇活動をして過ごしたりしています。学校へ戻るステップとなったり、生活リズムをつける練習の場になっており、通所している子どもたち同士も学び合うことが多いようです。

ただ、ラポールに通えるのは小中学校の間だけです。親御さんたちからは、中学卒業後に学校に行きづらくなった時などに行ける場がほしいという声が上がっています。

有田市にある居場所

有田市社協では、大学生と一緒に子どもたちの居場所づくりを行っています。

毎月第4金曜日　13:30～16:30
有田市の保田地区にある秘密基地でお料理をしたり、ゲームをしたり、時には畑作業をしたりして半日楽しく過ごしてもらいます。

毎週金曜日　13:30～16:00
バーチャル空間oViceを使い、オンライン上で居場所を運営しています。

ARIDA_NO_IBASHO

高校生や大学生の年齢でも参加可能です。

有田市健康推進課では、ピアサポーターと居場所づくりを行っています。 高校生ぐらいの年齢から参加可能です。

毎週火曜・金曜日　13:00～17:00
有田市文化福祉センター　和室

※ピアサポーターとは
自分も同じ経験があり、その経験を活かして同じ境遇にある仲間をサポートする人のことです。

子どもたちは褒められたい?!

親御さんたちが盛り上がった話題が「褒める」という行為についてでした。
子育て中の方やご近所に子どもさんがいる皆さんはどうでしょう？普段、子どもたちのことを褒めていますか？

「いっこも褒めてくれやんと言われる」
「気を遣って褒めたら、何なん？と言われる」
「頼むくせに褒めへん　とも言われる」

お話の中では、親世代は褒められて育っていないから褒めること自体が難しいという意見も出ていました。確かに、「褒めて育てる」を言われるようになったのはここ20～30年のことでしょうか。子育ては世代間伝達されるという学説もあり、40代の親にとってはつい出来ていないことを指摘する癖があるのかもしれません。とってつけて褒めると子どもたちには無理して言っていると受け取られたりして、子育ての言葉かけも積み重ねだと感じます。

「ありがとうも忘れる」

こんな言葉も出ていました。褒めることもそうですが、親子であっても「ありがとう」も大事ですね。母親という役割に加え、妻や嫁という役割もある中で、親御さん自身も余裕のない時はあります。家庭の中でのちょっとした言葉かけでお互いが楽になれる気がしますね。

新規参加
申込フォーム

※スマホから読み
とってください。

学校へいけない・いかない子をもつ親同士がつながる場
奇数月の第3日曜日　午後1時30分～3時頃
AGALA2階（箕島本町商店街東入口付近）駐車場有：AGALA東隣
事務局：有田市社会福祉協議会（宮本）　TEL　0737-88-2750
mail　aridashi.shakyo@gmail.com